

令和4年度第3回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）

次 第

日時：令和5年1月17日（火）

14時00分～

場所：東温市役所4階 大会議室

1．開会

2．あいさつ

3．協議・報告事項

（1）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

【資料1-1,1-2,1-3,1-4】

（2）その他報告事項 【資料2】

4．東温市地域公共交通アドバイザーによる講演

（香川高等専門学校教授 宮崎 耕輔氏）

5．閉会

< 事前送付資料 >

【資料1-1】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

【資料1-2】事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

【資料1-3】フィーダー系統概要

【資料1-4】フィーダー系統図

【資料2】 山間部路線のクロスセクター効果の試算（中間報告）

東温市地域公共交通活性化協議会(東温市地域公共交通会議)委員名簿

	団体	役職	委員	備考
1	東温市	副市長	大石 秀輝	
2	株式会社伊予鉄グループ	取締役	竹中 由紀夫	代理:清水 達郎
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	
4	愛媛県バス協会	専務理事	稲荷 和重	欠席
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	谷口 政賀津	欠席
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	金倉 弘武	
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	小野 昌浩	欠席
8	東温市産業建設部	部長	上岡 浩二	
9	東温市区長会	会長	三棟 義博	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	東 正史	
11	東温市婦人会	会長	萩原 貴美子	
12	東温市PTA連合会	顧問	松本 司	
13	東温市社会福祉協議会	会長	菅野 邦彦	
14	市民の代表(公募)		森 善政	
15	市民の代表(公募)		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通課長	猪川 泰道	代理:木村 圭孝
17	伊予鉄労働組合	書記次長	藤本 孝	
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	菊池 勝二	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	一色 利彦	
20	愛媛県	中予地方局 地域政策課長	洲之内 豊明	

【アドバイザー】香川高等専門学校	教授	宮崎 耕輔	
------------------	----	-------	--

令和4年度第3回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 令和5年1月17日 14:00～16:00

会 場： 東温市役所 4階 大会議室

1. 開会

進 行： これより令和4年度第3回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。

2. あいさつ

会 長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事 務 局： <説明【資料1-1,1-2,1-3,1-4】>

会 長： ただいまの説明について、何か質問はないか。

一 色： 今年度から輸送監査部門の担当となった。今年度初めての参加となるので、よろしく願います。

河之内線の目標、利用者数1便当たり3人が未達成である要因については、新型コロナウイルス以外、例えば沿線上の人口減少等、他の要因についてはどのように考えているか。また、今後の目標については、人口減少等を加味した引き下げを検討しているか。

事 務 局： 主たる要因は、人口減少によるものであると認識している。今手元に正確な数字は無いが、地域によっては平成26年と比較し3分の2近くになったとも聞いており、沿線住民の人口は大幅に減少している。また、今後の目標値については、今のところは変わらず1便当たり3人を目標に取組んでいくつもりである。

会 長： 他に何か質問はないか。

横 手： 先程ご紹介いただいた“みんなの公共交通を考える会”の代表を務めている。

私たちの今行っている路線バス利用の取組は“観光”にも通じると思っている。バスを利用して身近な景勝地を訪れている。昨年については、俳句甲子園の審査員の方々をお招きして、滑川溪谷をご案内するなど、月に1度程度のペースで開催できた。

長寿介護課開催の会議等にも参加しているが、観光分野での利用という取組と、高齢者向けの移動手段の確保というのは、また別の問題であると認識している。観光と生活、その両面において公共交通の在り方を検討していく必要があると思う。

会 長： 他にご意見はないか。
では、案のとおり国土交通省へ報告してよいか。

各 委 員： 承認

会 長： それでは、案のとおり報告する。

(2) その他報告事項について

会 長： 次の議題、その他の報告事項について。まず山間部路線のクロスセクター効果の中間報告について、事務局の説明を。

事 務 局： <説明【資料2】>

会 長： 資料の文字の大きさ等について考慮し、見やすい資料を心掛けるように。事務局の説明に対して、質問等はないか。

各 委 員： <質問・意見なし>

会 長： 他に意見が無いようなので、次回は最終報告をお願いする。
続いて、定額タクシーTAKUZOU北方についての報告を。

事 務 局： <説明【当日資料】>

和 田： 12月から運行させていただいている。運行当初は3名の登録があり、その後登録者数が伸び悩んでいる。

現在の利用者3名はほぼ毎日利用しており、バスや電車への乗り継ぎとしての利用が最も多い。当該3名は、以前からバスや電車への乗り継ぎに通常のタクシーを利用していた方々で、タクシーの利用方法をよく理解している。今回の定額タクシーにメリットを感じたため、直ぐに登録したとのこと。

3名とも高齢で、新型コロナウイルスの感染状況を懸念しており、第8波の1月以降については、12月よりは利用頻度を抑えるなどして、外出を自粛しているとのこと。

実施主体である株式会社バイタルリードが、12月末に実証実験の運行工

リアの住民に対し、チラシのポスティングを実施したので、その効果を期待しているところである。1月に登録者1名増となったが、それ以降、登録者の増加には今のところ至っていない。定額タクシーだけではなく、通常のタクシーも同様に利用者が減少しており、やはり新型コロナウイルスによる外出自粛の影響は否めないと考えている。

11月までは回復の兆しも見られ、需要の増加を期待していたが、12月以降、忘年会の取りやめなど、明らかに需要が減少となった。1月に入ると、更に顕著な減少がみられ、松山の繁華街においても、夜の時間帯の明らかな人通りの減少が窺える。第8波が落ち着いてきた後、乗合タクシーについても、需要が戻るのではないかと考えている。

事務局：（今後のスケジュールについて説明）

会長： 当該事業に対して質問はないか。

周知の時間が短かった点も否めないが、自家用車による移動もまだまだ多い地域であるとも考えられる。

短い期間の実証実験であるが、今後の取組の糧としたい。その他意見はないか。

横手： 周知期間が短かったのは残念である。

ポスティングについては認識していたが、地域住民においては、サービス内容や実施主体に対する不安があったとのこと。事業としては非常に利便性の高いサービスであるので、地域へのきめ細やかな説明は必要となるが、期間中はぜひ利用していただきたい。

一色： 定額タクシーについては、松山市や県外においても実施されているところである。周知やコロナ等懸念事項が多々ある中、準備期間が短かったのは残念であった。

このような定額タクシーの実施において、通常のタクシーの利用頻度がやや下がる可能性も考え得るが、新たな外出機会を促進し、バスや電車を含め、交通機関全体の需要に繋がるのではないかと考えている。本日ご出席の皆様にも、事業の周知にご協力いただきたいと思う。

実証実験については2月末となっているが、現に利用されている中、利用者に対する説明も含め、今後についてはどのように考えているか。

事務局： 現時点で継続は難しいと考えている。しかしながら、報告等の中で、地域住民の公共交通に対する関心・ニーズの発掘等、地元で議論するきっかけとし、次に繋がればと考えている。最終的な結果を踏まえて、今後について地域の方々と協議していきたい。

会 長： 他にご意見はないか。

各 委 員： <質問・意見なし>

会 長： 結果の報告及び地域住民への説明をお願いします。
その他報告事項等はないか。

事 務 局： E Vバスの導入状況について、伊予鉄バス様から状況をお伺いしたい。

清 水： ご周知のとおり、川内線にE Vバスを導入することとなっている。
1月25日に出発式を実施し、問題なければ翌日から投入することとなる。
12月に納車も完了し、現在は実地での走行や燃費等、データを収集している段階である。また、ディーゼル車と比べて操作についても特殊であり、併せて運転士の熟練度を高めているところである。順調に進んでおり、1月26日には実際の運行をお披露目できると思う。
E Vバスについては次年度以降も随時導入を検討しており、CO₂の削減に取り組んでいきたい。

会 長： 外観についてはどのような仕様か。

清 水： 通常のアレンジのカラーリングに加え、ロゴに“E V”と表記がある。
また、バスの形状においては、時代が移るにつれて角がとれ、丸みを帯びてきた中、今回のE Vバスはまた違った形状となっており、一目で“E Vバス”と認識できる仕様となっている。以上となる。

会 長： それでは全体を通じて意見や質問事項は無いか。

各 委 員： <質問・意見なし>

会 長： 無いようであるので、本日の協議・報告事項は終了させていただく。

4．東温市地域公共交通アドバイザーによる講演

<講師> 香川高等専門学校教授 宮崎 耕輔 氏

5．閉会

進 行： 以上で令和4年度第3回東温市地域公共交通活性化協議会を閉会する。